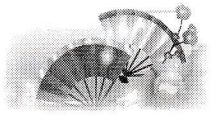
発行日　令和6年1月1日
発行所　〒601-8321
京都市南区吉祥院
西定成町35
京都市洛南身体障害者福祉会館内
NPO法人
京都市肢体障害者協会
TEL 672-3615
一部20円

新規会員募集
TEL・FAX
075-672-3615



令和6年の新年を迎えて

理事長　大江正照

皆さん、明けましておめでとうございます。令和六年の正月を、気分も一新、晴れやかな清々しい気持ちで迎えられた事と存じます。

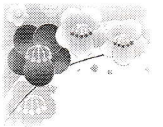
前年度までのコロナ騒動も、5類になり、ほぼ、元の生活に戻って来てはいるものの、今冬もまた、コロナやインフルエンザが流行していますので、皆さんも十分にお体に気を付けて日々お過ごし下さい。

さて、京都市肢体障害者協会の令和5年度の事業は、2月の「新春のつどい」を残して、すべて予定通り行えました。今年も、皆さんとの交流を深める場を少しでも増やしていきたいと考えております。

昨年は私自身の健康問題で、公の場にはあまり顔も出せませんでしたので淋しく思っておりました。今年は頑張って、少しでも多く、会員の皆さんとの笑顔に触れたいと願っております。皆さんもどうか、ご自身のお体をご自愛なされて、今後もいろんな事業にご参加下さい。皆さんと共に京都肢体障害者協会を盛り上げていきましょう。

「障害者自立支援法」が施行されて16年が経ちます。会員の皆様も、いろいろと創意工夫されながら、日々、自立した生活をされておられる事と存じますが、何か少しでも困った事があれば障害者相談員にも相談されながらお互いに助け合いながら今年も良い年にしていきましょう。

本年も皆さんの健康とご多幸を心から願っています。



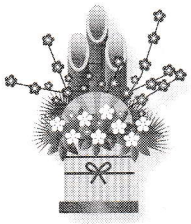
新春にあたって

事務局長　小坂義夫

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて今年の障害者に関する問題で最大の関心事は、4月からの民間事業者の「合理的配慮の義務化」ではないでしょうか。〝配慮〟という言葉を聞くと、思いやりの行為と思われがちです。〝配慮なんだから思いやりでやればいいのでは？なぜわざわざ義務にするのか？〟と思うかもしれません。合理的配慮は、社会的障壁によって生まれた機会の不平等を正すためのものです。例えば、車いす利用者が、入口にスロープが無く、階段しかない店を利用しようとしている状況があります。階段しかない入口という障壁を作っているのが事業者側です。障害を作っているのが事業者側であるとすれば、その原因を取り除くのは障害者自身が努力・工夫すべきことでも、事業者が思いやりでやるものでもなく、事業者の義務であるということが分かります。

しかし大企業は良いとして、中小企業や特に喫茶店等においてはどこまで対応できるのかは不透明です。法律上は「実施に伴う負担が過重でないとき」、事業者・障害者どちらか一方の要望や事情のみを考慮するものではなく、双方の建設的な対話から相互に理解・納得し、その手段や方法、代替手段の検討されたものが合理的配慮です。となっていますが、その判断は難しいと思います。その様な中我々当事者は、自分で判断せず〝障害者相談員〟にその内容を相談し、相談された相談員は、その内容を京都市に報告し、京都市から事業者に改善を説明・要求する事を知っておいて頂きたいと思います。その上で〝誰一人取り残さない共生社会の実現！〟に向けて協会が一丸となって取り組んでいく事が、今年の大きなテーマの一つになる事は間違いないでしょう。そして相談するところが解らない時には、一度事務局にお気軽にご相談ください。



琵琶湖周遊

令和５年度　体幹機能訓練

マキノメタセコイアについて

１９８１年にマキノ地区防風林として、最初、４４０本を植栽して翌年からマキノ地区の人々が植栽し、総延長２・４キロメートル、現在五百本の並木道になっている。樹高は25～30メートルになる。新日本街路樹百景に選定されている。

10月10日の体育の日に肢体協の「体幹機能訓練」で滋賀県マキノにある〝メタセコイア並木〟に行くとファックスが来た。見た途端に「えっ～　ほんと願いが叶った」と大喜びをした。思えば42年前テレビニュースで、この木が滋賀県に植樹されると聞き、「見に行きたい」と長年思っていたのだ。42年の月日が過ぎて、82才になってやっと願いがかなったのだ。これを読まれた方は「えっ～なんで？」と不思議かも。

運転も出来ない、ひとり旅も出来ない私は、勇気も出なくて42年の歳月が過ぎて行きました。現地でメタセコイアを見る事ができてホント嬉しかった。メタセコイアは遠くから見ると日本の木々と違って、枝葉が横に広がらずまっすぐ上に伸びる樹木なのだ。遠くから見ると「まるで筆が並べてあるみたい」と思って眺めた。秋の高い空に向かいまっすぐに高くあり、私も負けずに上を向き眺めた。

また、ランチを頂いたホテルの、９階から見た琵琶湖の大きさ、本当に大きな湖なのだと改めて思いました。他県のように、水の心配なく生活が出来る私達。車中よりズ～っと湖の淵を走っているのかと思った。本当に大きな湖なのだ。もう、大きな琵琶湖やメタセコイアを見ることも無いと思う私だが、写真を眺め、あの日の気まぐれな天気と、メタセコイアを見ることが出来た思い出を大切に、これからも元気な毎日を過ごしたい。

伏見区　若葉

令和５年度

第2回 スクエアボッチャ大会開催

体育部会担当副理事長　菅浪善造

コロナも５類になり一様に平静な日常生活を取り戻したかの様に思われます。今年度２回目のスクエアボッチャ大会を、好天のもと11月５日（日）午後１時より、京都市地域リハビリテーション推進センター・体育館で行いました。小坂義夫理事長代理の開会挨拶後、ご来賓の京都市障害保健福祉推進室企画・社会参加推進課長 須蒲浩二様、公益社団法人京都市身体障害者団体連合会事務局長 大泉清貴様からご挨拶を頂き、京都福祉レクリエーション研究会 川瀬恵子先生以下５名のご協力で開催する事が出来ました。お馴染みになりました数え歌に合わせた準備体操を、川瀬恵子先生のご指導で身体をほぐして貰いました。吉村審判委員長より競技上のルールと注意点を受けて、参加者が前回よりもやや少なく当日欠席者もあり、38名が８チーム編成で、競技開始。ジャックボール（白色）目がけて個性的な投球で一喜一憂、前回よりも、ジャックボール近くに接近する場面が多くあり、ボーナスポイントごとに大きな歓声が上がり、熱戦が繰り広げられて回を重ねる度、皆さんの腕が上がり益々熱が入り楽しんで頂いたと思います。

黒川義弘委員より成績発表、参加者全員に豪華景品？を受けて頂きました。櫻井貞子副理事長の閉会の挨拶で無事終了する事が出来ました。午前中より、準備のお手伝い頂きました、ボランティアの皆さま、並びに役員さんご苦労様でした。総勢46名。

会場提供して頂きました、京都市地域リハビリテーション推進センター様、スクエアボッチャボール借用致しました、京都市障害者スポーツセンター様、京都市身体障害者団体連合会様よりマイクの借用等とても助かりました。今後ともよろしくお願い致します。感謝申し上げます。

「バス旅行」に同行して

結婚相談所運営委員　Y・A

9月30日の土曜日に、京都身体障害者結婚相談所の「ふれあいバスツアー」がありました。一番気になっていたお天気も天気予報では晴れそうでひと安心でしたが、出発日間近になり、会員数が少なく貴重な存在の女子会員が体調を悪くされて欠席と連絡があり、また、当日にも女子会員一名が急遽、不参加になり、少し残念でしたが、でも、気持ちを取り直し、総勢22名で二条駅を定刻に出発、まずは滋賀県の「びわ湖テラス」に向かいました。

びわ湖バレイから見る琵琶湖は少し、かすんでいましたが、高い所から見る雄大な景色は素晴らしくて結婚相談員の立場も少し忘れてしまい、久しぶりの外出のステキな景色に見とれてしまいました。少しかかっていた霞もだんだん薄れてきて、下山のゴンドラから見る景色はパンフレットで見るような、素晴らしく青い空、青い琵琶湖とまではいかなかったけれど、雄大な琵琶湖や急な山肌の景色に、やっぱり無責任に相談所のバス旅行のことは束の間、忘れてしまって久しぶりの旅気分を楽しんでしまいました。

お見合いでお付き合いをされて、交際5年目のカップルの会員の方も二人して参加されていて、長い交際期間を経てるのだし「そろそろ」なんて思ってしまいますが、結婚にたどり着くまでには、やっぱりいろんな条件がありそうです。

昼食会場は大きな、大きな会場に会員総数22名だったので、隣のテーブルとはずいぶん離れてしまって、会員同士の会話は同じテーブルの人とだけになり、相談所の食事会場としてはふさわしくなかったけれど、それぞれのテーブルでは和気藹々とみんな楽しそうでした。私たちの席では、運営委員と相談員が、年末のクリスマス会に向けて、同席の会員さん達に希望や意向を聞いたりしながら、次回の出会いの場の「ふれあいクリスマスパーティ」の話で盛り上がりました。

バス旅行の最後のスケジュールは、滋賀県マキノのメタセコイア並木です。

まだ、主人の運転で、あちら、こちらに出かけていた頃には何度か来た所なので、久しぶりの並木を見るのを少し楽しみにしていました。その頃と比べて、メタセコイアの木は一段と大きくなっている気がして懐かしく、今度は私の運転で一緒に来れると良いなぁ。

メタセコイア並木では、お買い物とか並木の散策とか、みんな思い思いに楽しまれていました。

帰路のバスの中では恒例のビンゴゲームで盛り上がり、バス旅行もそろそろ終盤です。今回は女性の参加者が少なかったので、残念なことにカップルは生まれてなかったみたいですが「来年のバス旅行を楽しみにしています」の会員さん達の笑顔の言葉を聞きながらバス旅行を無事に終えました。

クダラない話

下京区　桑山義隆

古代朝鮮半島は高句麗、新羅、百済の三か国に分かれていた。韓国語で「コクリョ」と発音する高句麗は日本語で「こうくり」、韓国の文字ハングルでシンラと書いてシルラと発音する新羅は日本語で「しらぎ」。問題は百済である。韓国語でペクチェ。日本語では「ひゃくさい」である。なぜ日本語では「ひゃくさい」と言わずクダラと言うのか。

中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我入鹿を暗殺した乙巳（いっし）の変（昔は大化の改新と言った）の後、中大兄皇子がまだ天智天皇になる前の六六三年、韓国の白村江では日本・百済連合軍と唐・新羅連合軍の戦争があった。結果は日本・百済側の大敗北。日本軍は無論逃げて帰って来たが、百済の王室関係者など多くの百済の人間も日本に逃げて来た。その中に百済一五代国王武寧（ぶねい）王の血筋の家族がおり、一人の少女が生まれる。高野新笠（たかのにいがさ）と名付けられた彼女は光仁天皇と結ばれ、生まれたのが平安京を造る桓武天皇。それはまだ先の話。

日本へ逃げて来た彼等は故郷をなつかしんだ。その当時朝鮮半島の方が日本より文化の進んだ先進国だった。だから彼等は「私達が昔住んでいた所は、偉大な国だった」となつかしんだ。偉大は韓国語でクダ。国はナラ。奈良はこの奈良からきたとも言われている。偉大な国と続けばクンナラ。私達が昔住んでいた所「偉大な国」だった。クンナラだった。クンナラだったと言っているうちになまってクダラとなり、今住んでいる所は「偉大な国ではない」「クンナラでない」「クダラでない」「くだらない」と言う日本語ができたというのは、言語学的には何ら証明のされていない、文責ゼロの話である。

京仏壇京仏具・お仏具ご修復
ご本堂内装・お納骨壇
創業229年　お仏壇仏具づくりただ一筋に
京仏具　小堀
http://www.kobori.co.jp
本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通り正面上る
フリーダイヤル0120-27-9595・FAX075-341-4128
Yahoo!ショッピング　http://store.yahoo.co.jp/kobori/

〝秋まつり〟オファー！

コーラス部「やわらぎ」　安田和子

長～いコロナ禍で唄うこともできなくて、最悪時は自宅で自粛と言う時期も有り、お先真っ暗でした。時折りお声かけさせて頂いても腰が、足がと体調不良で２人退会されました。

ピアノ講師の藤原静香先生に相談し手の消毒、マスク着用して唄うという条件で先生のご自宅でレッスンさせて頂きました。

送迎は、洛南会館のバスを、その都度お願いしました。

お亡くなりになられた藤原先生のご主人様、順二先生が最後に、「『やわらぎ』だけは宜しく頼む！」と言い残して下さり、順二先生の代わりにとギターの進藤信通様と山崎武士様が何時もお世話して頂いています。和やかに楽しいひと時でした。

今年の５月から洛南会館での練習の許可が下り８月の末に〝秋まつり〟でのオファーが有りました。11月３日（金・祝）で出演時間は10分との事で３曲決めました。「もみじ」、「大阪ラプソディ」、「いつも誰かのために」。

人前で唄うのは四、五年振りかなぁ。でも皆さん二部合唱も良く覚えていて、きれいに揃っていたそうです。悪かったのは、笑顔が足りなかったそうです。皆んな緊張されてたのでしょうね。

只今、「やわらぎ」は先生も入れて16人です。男子４人、今年からベスト、蝶ネクタイ新調しました。女子もコロナ前に新調しましたが着るのは、その日初めてです。

京都迎賓館を訪ねて

前田美智子

寒波の来襲で全国的に厳しい寒さの続く中、春に先駆けて障害者の私達に京都迎賓館の公開を招待して下さるとの朗報で、当日は楽しみに出掛けました。

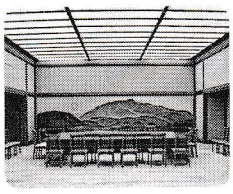
一同で立派な建物を見学したが、どの一つを見ても優れた京都の伝統産業が光彩を放つ見事さです。

内装の壁絵や敷物の優雅さ、襖や椅子の背もたれの気付かぬ部分にも桐の紋入り等、吟味に吟味を重ねた最高のしつらえを施した雅の世界……。

諸外国からの使者を迎えての会談に、レセプションにと日本美を最大限に取り入れた室内装飾の心憎いまでの配慮がなされて感動しました。

また、古都京都の良さも随所に用いられて壁絵、絨毯の織柄は優美で、有名な川島織物が社名を掛けた渾身の作品であり、各部屋の調度品は蒔絵が静かに見る人の気持ちを和ませる……。

主賓客との会談に相応しい「藤の間」のテーブルセット、その椅子の布は西陣織で生地の光沢と共に、淡い藤色の図柄は京都の伝統産業の片鱗を見せて異彩を放っていました。



廊下に立ち並ぶ行灯は大変に優れたデザインで、きっと、木工や彫刻でも職人さん達が一世一代の思いを込めた作品だと察せられる。

この迎賓館の「粋」を集めた建造物は我が京都の誇れる美術工芸の結晶です。

束の間を雅な世界に身を置き、生活感が遠のいた良き〝ひととき〟でした。

（数年前の原稿です）

脳トレクイズ？ Quiz

問題

昭和元年生まれの人は、今年満何歳になるでしょう？

1. 満９５歳
2. 満９７歳
3. 満９８歳
4. 満100歳

応募方法

①クイズの答え　②住所　③氏名　④電話番号　⑤今月号広報紙の意見・感想　⑥必ず官製ハガキにてお願い致します。

正解者には、抽選で３名様に図書カード1,000円分をお送りします。

締切り３月10日（消印有効）

〒601-8321 南区吉祥院西定成町35
洛南身障福祉会館内
肢体障害者協会クイズ係

◉前回の答えは、「３．３勝２敗」でした。応募総数12通。当選者は、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

家族葬は公益社へ
0120-004-200
いつでもお電話ください　24時間受付
ブライトホール
公益社WEBサイト